

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	小山中央学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】 町田市小山ヶ丘3-7-1(小山中央小学校敷地内) 【開設年月】 2010年 【開所日時】 月曜日～土曜日／8時～19時 【建物面積】 延床面積 316.11㎡ 【建物構造】 軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】 180名(2023年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://afterschool.keikoukai.ed.jp/oyamachuou/		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 景行会	法人番号	9012305000203
指定管理者所在地	町田市藤の台1-1-56		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	☐ 該当 ☒ 併用 ☐ 非該当	選考方法	☒ 公募 ☐ 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
安全管理(コロナ対策)	毎年度	保育時の手洗いと手指消毒・マスク着用・おやつ時の黙食の徹底し、飲食時のパーティション設置を行った。施設管理としては毎日の机と床の殺菌・消毒、室内の常時換気や3密の回避を行い、職員の検温を行った。5月8日の緩和以降も手指消毒、毎日の床と机の消毒・殺菌、室内の常時換気は継続して行った。
利用者満足度(全体満足度)95%以上	毎年度	利用者満足度(全体満足度)は94.8%となり未達成であるが昨年度より利用者満足度(サービス・施設管理面)は1.4ポイント、回収率においては4.4ポイント上昇した。
職員の研修への参加回数5回以上	毎年度	常勤職員が12回と達成している。常勤以外の職員も9.7回で達成している。

3. 昨年度の課題

内容	児童の安全性が損なわれる案件が発生した。
----	----------------------

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、全体満足度については目標値には届かなかったものの94.8%、サービス・施設管理面については95%の満足度を得られていることから、高いサービスを提供していると判断できる。研修の平均受講回数は10回を超えており、職員の能力向上への取り組みは、要求水準を満たしていた。昨年度の課題であったアレルギー児へのアレルギー物質を含んだ飲食物の提供については、おやつ提供前のダブルチェックやアレルギー児専用トレーの準備など、事故防止への取り組みが見られ、事故は発生しなかった。 業務履行状況・財務状況は全項目「適」と要求水準を満たす運営を行っていた。 以上のことから、総合評価を「A」とした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	社会福祉法人景行会の施設運営理念に則り、児童一人一人の人権を守り、また、人としての尊厳を大切にする保育と、豊かな人格形成を目標にした活動を行った。今年度の利用者満足度では保護者の協力により回収率の上昇に繋がった。5月頃からのコロナ緩和により、外部の方を招いてできるイベント数も増え、日本将棋連盟の講師による「将棋教室」、桜美林大学落語研究会による「出前寄席」など、子ども達が体験・経験ができる機会が増えた。また例年通り地域のサッカー大会(小山、藤の台ポケット、小山ヶ丘、小山中央)の開催や、さつまいも掘り、ズーランシア動物園へのお別れ遠足なども実施する事ができた。 昨年度アレルギー児に対してのおやつ提供を行う中で、誤ってアレルギー物質を含んだ飲食物提供してしまった。改善策として、おやつ献立表作成時に職員ダブルチェック、当日提供前のダブルチェック、アレルギー児用提供トレー準備、アレルギー明記のアレルギー児の札をトレーに置く等を行った。また職員の打合せ時における代替えおやつ確認を行い、当日の職員全員に情報共有をし再発防止に務めた。これらの改善により今年度の誤食は無かった。	

【評価対象年度 2023年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2024年1月9日～2月14日(37日間) 【登録児童数】 162名(調査月1日時点) 【配布枚数】 146枚(家庭数) 【回答数】 135枚 【回収率】 92.5% 【調査方法】 (配布方法)Web回答 (回収方法)Web回答
------	---

指標1	評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満		95%	94.8%	B
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	95	95	95	95	95
実績値	92.0	97.2	97.5	94.8	

指標2		評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度 (サービス・施設管理面)		(サービス、施設管理面等の9項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満		95%	95.0%	A
指定期間内における実績(単位: %)						
年度	2020	2021	2022	2023	2024	
目標値	95	95	95	95	95	
実績値	95.9	93.9	93.6	95.0		

指標3		評価基準		目標	結果	評価
研修参加回数		(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A:10回以上 B:2回以上10回未満 C:2回未満		5回	12.0回	A
指定期間内における実績(単位:回)						
年度	2020	2021	2022	2023	2024	
目標値	5	5	5	5	5	
実績値	2.3	7.0	8.7	12.0		

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度において75%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者から一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は92.5%と75%を超えており、利用者意見の聴取に積極的に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は12回と、評価基準で示す10回を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2023年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	保護者・利用者への平等な取扱いを「学童保育クラブ入会のしおり」及び「児童ケース記録」等で確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	保護者へ適切に情報提供をしていることを「おたより」等で確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	事業を適切に実施していることを「年間計画」及び「実施報告書」で確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	「育成日誌」及び「育成記録」を、各期日までに適切に提出していたことを確認した。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	適切に点検を実施していることを「点検マニュアル」等で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制が整備されていることを「社会福祉法人景行会個人情報保護規程」等で確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理（施錠された書棚での保存等）	個人情報記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開体制が整備されていることを「情報公開規程」で確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	苦情対応の体制が構築されていることを「苦情処理及び担当業務規定」で確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていることを「安全管理マニュアル」等で確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していたことを「事業報告書」で確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていることを「安全管理マニュアル」等で確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員が配置されていたことを「育成日誌」及び「シフト表」で確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していたことを「研修記録」で確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを「事業収支決算書」等で確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	長期間使用しない家電等のコンセントを抜き、電気使用量を最小限にする等、管理運営経費の削減に取り組んでいたことを目視で確認した。	適
地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していたことを「事業報告書」等で確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	市民雇用率が48.2%であることを「職員調査」で確認した。	適

【評価対象年度 2023年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年11月17日に同一法人が管理する小山ヶ丘学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年11月17日に同一法人が管理する小山ヶ丘学童保育クラブでモニタリングを実施し、賃金台帳の項目で「不適」であったが、年度中に是正されたことを確認したため「適」とする。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

年度 項目		2020		2021		2022		2023		2024	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	43,565	47,037	42,149	38,740	47,215	43,432	46,676	45,638	21,893	
	特別育成料	4,000	597	400	533	500	687	500	684	0	
	雑収入	40	0	0	123	0		0		0	
	寄付等	0	0	0	0	0		0		0	
	計	47,605	47,634	42,549	39,396	47,715	44,119	47,176	46,322	21,893	0
支出	人件費	39,934	33,579	37,298	32,085	40,552	36,040	39,616	37,397	15,659	
	管理費	1,321	1,308	1,335	1,062	1,181	1,211	1,488	1,124	699	
	運営費	1,224	632	1,070	533	1,214	976	1,226	1,054	410	
	精算する経費	1,826	1,691	1,700	2,484	2,152	3,043	2,152	2,896	1,700	
	間接経費	3,300	3,765	1,146	1,130	2,616	516	2,694	225	3,425	
	計	47,605	40,975	42,549	37,294	47,715	41,786	47,176	42,696	21,893	0
総計(収入-支出)		0	6,659	0	2,102	0	2,333	0	3,626	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	2.4	2.1	0.5	1.9	
負債比率	10.1	9.2	10.1	8.2	

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率は低いが、負債比率は適正な値であり、今後も適切な施設運営が可能であると考え。